

1業種(工事の種類)、
1事業者ごとにまとめて作成。

実務経験証明書

下記の者は、**内装仕上** 工事に関し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

証明者が証明した
日を入力

2015年 8月 31日

証明者の実印
(印鑑証明されたもの)

証明者とは、証明しようとする期間、被証明者が在籍していた法人の代表者又は個人事業主が該当。
 <法人解散等で証明者が不在の場合>
 当時の被証明者と同等以上の役職にあった者で証明できるものとし、その場合は、下表の該当欄(一番下)にその理由を記入する。また証明者欄は、当時の会社名、当時の役職及び氏名を記入する。(〇〇株式会社 元部長 〇〇〇〇など)

証 明 者 **△△株式会社**
代表取締役 **近畿 太郎**



被証明者との関係 **元社員**

証明者の立場からみた被証明者との関係を入力。

| | | | | | |
|-------------------------|--|---------|-------------------------|-----------------------|--|
| 技 術 者 の 氏 名 | 丹 篠 はな | 生 年 月 日 | 1990 年 10 月 25 日 | 使 用 さ れ た 期 間 | 2005 年 8 月 から 2015 年 8 月 まで |
| 使 用 者 の 商 号 は 名 称 | △△株式会社 | | | | |
| 職 名 | 実 務 経 験 の 内 容 | | | 実 務 経 験 年 数 | |
| 例) 現場作業員 | リゾートマンションインテリア工事 (普通作業員) | | | 2005 年 10 月 から | 2006 年 12 月 まで |
| 例) 工事係長 | カントリークラブハウスインテリア工事 (出来形・品質確保担当) | | | 2008 年 4 月 から | 2010 年 7 月 まで |
| 例) 工事課長 | 学校校舎天井仕上工事 他 3 件 | | | 2010 年 8 月 から | 2011 年 8 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| | | | | 年 月 から | 年 月 まで |
| 使用者の証明を得ることができない場合はその理由 | (例: 〇年〇月 事業主の死亡・会社解散のため 等) | | | 合計 | 満 4 年 5 月 まで |

・通年にわたり建設工事の経験がある場合は、その年の代表的な工事の件名を記入し、その他の工事は「他〇件」として件数を記入し、1年分を一行にまとめて記入することができる。
 ・通年にわたり建設工事の経験がない場合は、一件工事毎に積み上げて記入する。その場合の年数の積み上げは片落ち計算となる。
 (例: 平成28年4月~平成28年12月 → 8ヶ月の経験)

経験年数のはじめの月は計算しない。
合計年月数を下記に入力。

「実務経験の内容」の欄に記載された建設工事に関する実務の経験を有したときの職名を記載する。
例: 〇〇係長

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。